

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科											
楽器レッスン 4											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	選	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	瀧本雅文			実務 経験	有	職種	中学・高等学校音楽講師				
授業概要											
楽曲を制作するには、基本的なスケールやコード感を理解している必要があります。そして合理的でスムーズな音楽制作に鍵盤は必要不可欠なツールとなっています基礎的なピアノの奏法を学ぶ事によって、楽曲制作に必要なスケールやコード感を鍵盤を通して体得し、スムーズな音楽制作に役立てるようにし、さらには、音楽家としての表現の幅を広げるために、弾き語りでピアノ演奏ができることを目的とします。											
到達目標											
本科目はグレード対応科目となっており、2 年次後期はグレード 1 6 ～ 2 0 に準拠して授業が進行します。実際の演奏を想定した技術の習得、コード進行の技術の向上と想像力の習得、演奏者としての独創力と上級の奏法の理解と習得、演奏者としての更なる技術向上を目指した能力の習得を到着目標とします。											
授業方法											
基本的にはグループレッスン形式で進行するが、学生の個々の習得具合によって個人レッスンも取り入れます。ピアノ演奏を習得する事によって、鍵盤で弾いたコードに対してどのようなメロディーが合うのか、または、メロディーに対してどのようなコードが合うのかを理解し、音楽制作に発展させます。さらには音楽制作だけでなく、自身が表現者となり、ピアノ弾き語りができるようになる事を目指します。											
成績評価方法											
提出物60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
この授業ではキャリア形成の観点から、理由のない遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。表現者の一人としての積極的な授業参加を求めたい。音楽的コミュニケーションと良好な人間関係とは本質的に同義だと理解し努力すること。											
教科書教材											
毎回レジュメ、資料を配布する。参考書・参考資料は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第 1 回	グレード 1 1 ～ 15 対応。右手と左手のリズムをバラバラにしたコンピングが弾ける。										
第 2 回	グレード 1 6 対応。コードネームに対してオリジナルのボーシングを作成することができる。										
第 3 回	グレード 1 6 対応。コードネームに対してオリジナルのボーシングを作成することができる。										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科	
楽器レッスン4	
第4回	グレード17対応。これまで学習したコードを組み合わせで独自のコード進行で8小節以上弾ける。
第5回	グレード17対応。これまで学習したコードを組み合わせで独自のコード進行で8小節以上弾ける。
第6回	グレード18対応。ソロ・ピアノスタイルで曲のイントロやエンディングを弾ける。
第7回	グレード18対応。ソロ・ピアノスタイルで曲のイントロやエンディングを弾ける。
第8回	グレード18対応。ソロ・ピアノスタイルで曲のイントロやエンディングを弾ける。
第9回	グレード19対応。リードシートを読解しながら、アンサンブルに混ざってエレピを弾ける。
第10回	グレード19対応。リードシートを読解しながら、アンサンブルに混ざってエレピを弾ける。
第11回	グレード19対応。リードシートを読解しながら、アンサンブルに混ざってエレピを弾ける。
第12回	グレード20対応。オリジナル曲を3曲以上ピアノで弾ける。
第13回	グレード20対応。オリジナル曲を3曲以上ピアノで弾ける。
第14回	グレード20対応。オリジナル曲を3曲以上ピアノで弾ける。
第15回	全体のまとめ